

平成28年度青果物に係るジャパンブランド確立事業・販売促進並びに商談会結果報告



野菜とフルーツの総合商社

株式会社 **船昌**

船昌商事株式会社 FUNASHO GROUP

コンテンツ

□販促物及びイベント写真 □商談会内容まとめ

- ▶ 商談会日時:
2016 / 09 / 09(金)
PM14:00~PM17:00
- ▶ 場所
台北市信義區光復南路495號11樓
【太平洋商旅 會議室D】
- ▶ 目的
9/9の台湾・中秋の名月の時期に合わせ、日本産青果物の販促及び商談会を行う。
商談会の出席業者は青果輸入会社以外に現地小売業者の方等、数十社程参加して頂いた。
主な目的としては、今後の商売に繋がる様、日本産青果物のPRに重点を置いた。
- ▶ 会議進行方法
 - ①船昌商事株式会社より会社案内や取組みの説明
 - ②株式会社船昌より取扱う青果物の商品説明
 - ③サンプルの試食会
 - ④意見交換
 - ⑤まとめ

1、イベント販促物：ポスターと招待状

2016 農産品座談會
貴賓邀請函



時間：9月9日(五)下午 14:00~17:00

地點：太平洋商旅 會議室 ROOM D
台北市信義區光復南路 495 號 11 樓

敬邀您一同出席參與並分享寶貴意見

 日本青果物輸出促進協議會
Japan Fruit and Vegetables Export Promotion Council

 野果とフルーツの総合商社
株式会社 船昌

 船昌商事株式会社 FUNASHO GROUP

季節限定
貓眼葡萄 麝香葡萄

安全 安心 高品質

Japanese food quality



 日本青果物輸出促進協議會
Japan Fruit and Vegetables Export Promotion Council

 野果とフルーツの総合商社
株式会社 船昌

 船昌商事株式会社 FUNASHO GROUP

イベント販促物： (株)船昌と船昌商事(株)会社案内



農産品の専門家—船昌集團

野菜とフルーツの総合商社

 株式会社 **船昌**



船昌集團作為社會環境中的一員，從事著人們不可或缺的產業，我們期待自己能夠帶給顧客信賴感。

我們常常思考社會大眾最需要的是什麼，然後誠實努力的去實行，透過員工全員參與創造出更高的企業價值。

代表取締役 關野裕

船昌集團成立 90 多年來，這段期間累積了經驗與實績，並順應時代的潮流不斷前進，一直都受到顧客的支持和信賴，這也讓我們更加步步為營，凡事都追求最好。

面對時時變動的社會環境及通路多元化等因素，我們都保持柔軟的動性、彈性的應對及迅速的態度，隨時持續提供最好的服務與產品，這是我們的榮幸，也是天職。

我們一向保持柔軟的商業動性、彈性的應對能力及迅速的處理態度，讓顧客無後顧之憂。針對消費者對食安的關心，我們也成立了食安對策。

為確保日本食品鏈的信賴度，提供消費者食的安全，船昌集團絕對是不遺餘力，以著最高的檢驗規格，為每一位顧客嚴格把關。

在未來的日子裡，我們更會吸收優良的傳統食文化，透過不停的學習與進化，朝著健康、豐富的明天而努力。





用心只為顧客—船昌商事

 船昌商事株式会社 FUNASHO GROUP

船昌集團具有全球化的世界規模，透過多元化的高品質日本果物提供給顧客。在未來，我們會繼續努力，積極細膩的服務所有顧客。

代表取締役社長 關野章



船昌集團創立於 1924 年，為了提供顧客更加完善的服務及品質提升，1974 年再創立船昌商事株式會社，以專業高規格的方式，專門負責經營進口國外蔬果事業。

船昌商事以水果為中心，從世界各國挑選令人驚豔的優質商品輸入。無論是色澤、香氣或營養成份，每每讓顧客讚不絕口。

公司內進口品項超過 100 種以上，其中以香蕉、奇異果、芒果、酪梨為主。多樣化的商品及齊全的種類，使船昌商事總是穩佔業界翹楚。

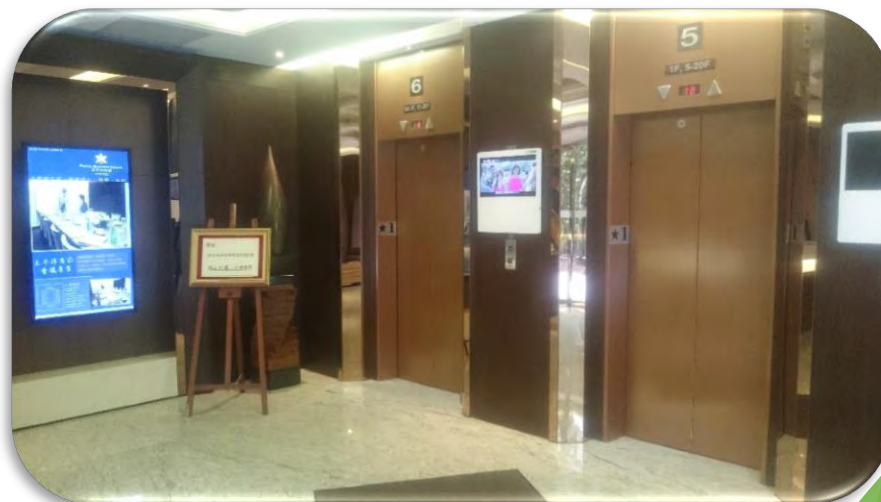
國內顧客從東京大田市場開始，日本全國批發商、超市、量販店皆為其合作夥伴。

企業致力發展進步，不止讓全日本顧客可購買到安全、安心、美味的農產品，現在更以最高的產品標準，來台灣與您及朋友一同分享。



日本青果物輸出促進協議會
Japan Fruit and Vegetables Export Promotion Council

2、イベント当日ホテル入口案内看板



會議室內的セッティング風景



試食サンプル



今回は桃とシャインマスカット、
りんご（きおう・津軽）、人参を
準備しました。



試食サンプル



出席者の到着及び名刺交換



会議進行状況



前回の販促同様、台湾
パートナー企業の富友
有限公司（NIFA）呂氏
の協力を得て、今回の
商談会も実現しました。





(株)船昌による国産
果実及び弊社商材
優位点のプレゼン



現場試食品



船昌グループ専用会社ロゴシールを作成、
輸入業者、小売及び消費者に認知度をアピール
特にシャインマスカット並びにリンゴ等は味に関して
高い評価を頂きました。

試食風景



意見交換



3、意見交換内容

▶ 嘉義県政府農業処

船昌商事の会社案内及び今後の取り組みについて、よく理解でき台湾への良質農産物の輸出を歓迎している。台湾の青果業界に商品の取扱いや物流等品質管理システムが遅れている為、日本青果物の台湾輸出政策にコールドチェーンシステムの技術導入を検討することによって、両国の青果物輸出入政策によい結果をもたらすと思う。

▶ 紐西蘭奇異果 (NZ ZESPRI TAIWAN)

青果物の基本は、選別とパッケージです。特に輸入品は着荷状態で価格や売れ行きが決まる。さらに、それぞれの販売ピーク時に、商品の品質や数量確保等市場ニーズに合わせて出荷調整の柔軟性をもつことが台湾市場にとって大事なポイントになる。 日本のような小売業が販売主体と違って、台湾市場は伝統市場が中心で青果物を販売されているマーケットにとって、迅速な数量や売価の調整が必要になってくる。

▶ V D S ニンジン生産 & 輸出会社

台湾消費者のサイズの好みは日本と違って、台湾消費者は大きいサイズを好む傾向がある。日本は販売中心サイズはM + S に対し、台湾はL 以上サイズが希望、台日消費者好みの違いがちょうど各国の販売市場に影響なく、輸出できるのでお互いに良いビジネスチャンスになると思う。

現在深刻な問題で、台湾政府は日本食品に放射能検査や残留農薬検査の実施によって、特に両国の農薬使用規定が違うため、なかなか残留農薬問題がクリアできないのが現状である。この部分は両国の青果物貿易において大きな障壁だと思う。

▷ 日本青果物輸出促進協議会についての紹介

- (1) 日本の青果物を海外に伝えたい、農林水産省作成のDVDを放映
- (2) 「JAPAN BRAND」を海外へ
- (3) 販促物：「ジャパnbrand」のはっぴ、ポスター及びリーフレットの紹介

4、まとめ

▶ 日本青果物の輸出対策（船昌商事としての今後の取り組み）

（１）輸入国消費者好みの品質、規格、価格など商品情報を事前情報収集する必要がある。

我々輸入業者も国内における事前のマーケット調査が必要であるが、弊社としては現地の輸出業者が輸入業者になり得る可能性もある為、常日頃海外現地の好み等を連絡の際に確認する事も重要であり、出張の際にもそうした心構えを今後持つ必要性があると実感した。

（２）着荷状態を考慮すると、現状日本輸出業者は日本国内市場で流通している梱包方法で輸出しているため、着荷状態が悪い。

そのため、輸出専用のパッケージや包装などを工夫しなければならない。例えば箱の強度を強化、箱の内部での果実の揺れを防ぐ包装等が考えられる。前回の輸出の際も別途対応が必要であり、産地では取り組めない内容ではあったが、海外の輸入商品を見ても主に輸出の際の上記の様な工夫が多く見られる。海外の輸入商品を参考にして、今後日本の産地やパッケージ関連業者に、参考までに話を持ちかける事も輸入業者ならではの取り組みとして出来るのではと思った。

（３）この度、台湾の小売業者から輸入者まで様々な形態の方を一同にお招きし意見交換会を行ったが、

日本産青果物に関しては自社で輸入経験があるところも多く、只新たな品種や弊社の取組みにはそうした業者も非常に興味を持っていた。特に日本同様に国内に無い品種のもの（例えば台湾におけるりんご）や旬の生産期がずれるもの等、輸入者・小売業者の視点に立って今回商談会を行えた点が現地の需要を把握する上でも非常に収穫が大きかった。今後事業として販路を拡大して行く中で、今回の繋がりを活かし、更なる情報交換並びに商品開発、販路拡大が見込めるネットワークにする様維持していきたい。

（４）台湾、日本の輸出入業者は双方、夏場に日本から台湾への輸出と冬場は台湾から日本への

輸出を交流ビジネスの構図を築くことにより、ウインウインビジネスの体制を検討。

特に弊社の様な輸入商社に関しては、上記の取引により商売のリスクをお互い分散出来る為、継続的な輸出入を考えた際、一つの利点になるかと思われる。